

深浦校舎図書だより

原田マハ著「楽園のキャンバス」

原田マハ氏は、MoMA（ニューヨーク近代美術館）の勤務経験があり、現在フリーのキュレーターです。原田氏の著作「楽園のキャンバス」は、19 世紀後半から 20 世紀前半にかけて活躍した画家アンリ・ルソーの作品「夢」によく似た「夢を見た」の真贋判定（フィクション）と、画家として歩みだしたルソーの人生（史実）を交互に展開しながらミステリー風に仕立てた作品です。作品に登場する絵について調べながら読むと美術への興味も湧いてきます。

原田氏には美術に纏わる作品が多数あります。図書室にはないですが、「たゆたえども沈まず」はゴッホ、「暗幕のゲルニカ」はピカソをとり上げた作品です。特に「暗幕のゲルニカ」は、ピカソの母国スペインのゲルニカにナチス・ドイツが侵襲したことから、戦争の悲惨さを「ゲルニカ」（ピカソの代表作）として描いた背景（史実）と、イラク戦争に突入したアメリカで「ピカソ展」が開催される話（フィクション）とが交互に展開する作品です。今だからこそ読んでみるといいと思う作品です。



読んだ本の紹介

うちの執事が言うことには (高里椎奈／著)

笹森 優来

突如父親が引退し、18歳にして当主になった烏丸花頼（からすま かえい）と、新米執事の衣更月蒼馬（きさらぎ そうま）が様々な事件を解決するミステリー小説です。読み始めた時は、まだ若い主人を執事が手伝いながら推理する話だと思っていました。しかし、読んでいくうちに2人とも成長途中で、どちらも前執事を手本にしながら助け合っていく話なのだと読み取れました。まだ最後まで読んでいませんが、前執事の手を借りずに2人で事件を解決できるようになるのが楽しみです。最初から完璧ではない2人が、互いを認め合って成長していく物語です。



先送りせずにはすぐやる人になる方法 (佐々木 正悟／著)

竹内 結南



先送りせずにはすぐやる人になる方法という本は、最初の一步が踏み出せず、行動できない人をすぐやる人に変える方法を知ることができます。

私は勉強や片付けを後回しにしてなかなか行動できませんでしたが、この本の方法を試してみると、すぐに行動に移せるようになりました。

すぐやる人になる方法は55個あり、自分に合った方法を見つけることができると思うので、やらないといけなのに行動できない人は読んでみてほしいです。

海に見える理髪店 (荻原 浩／著)

村上 舞歩

あなたにとって家族とはどういう存在ですか？そう聞かれると、ひとそれぞれ違うと思います。この本は、家族をテーマにした物語が6つ描かれてある短編集です。身近にいるせいで考えられなかった家族との向き合い方について考えさせられます。

家族が身近にいることが当たり前になっている日常はとても大切なものだ気づかされました。永遠に続くものではないからこそ、今の日常がどれだけ大切なのか気づくことができる作品です。一度手に取って読んでみてください。



手紙屋 ～僕の就職活動を変えた十通の手紙～ (喜多川 泰／著)

中林 千花

この本は、就職活動に出遅れ、将来について悩む主人公が働くことの意味を見つめ直す作品です。将来働く今の学生に、辛い現実と、大きな壁にぶつかった時に立ち上がれる言葉をくれます。私も将来就職活動をした際、主人公のように思い悩むことがあるかもしれません。悩んだ末に、立ち止まることがないように、自分のことをよく知り、1人で考え込まないようにしたいと強く感じました。この本には自分を突き動かす力がたくさん込められています。



「心が凹んだとき」に読む本 (心屋 仁之助／著)

堀内 彩名

この本は、日常の悩みなどを少しずつでも軽くできる本です。実際私は、この本を読んで考えを改めることが出来た部分があります。例えば、この本で「ほめられたら素直に受け取ろう」という言葉を見つけました。私はとてもポジティブとは言えず、自分は基本ダメだと思ってしまいます。なので誰かに小さいことでもほめられたら、素直に受け取れず、「いや、そんなことないです。」と、とっさに出てしまいます。でもこの本を読んで、否定とは、相手の意見を否定することと同じだと気づきました。



新着図書紹介

○反田 恭平／著 終止符のない人生

夢を叶えた瞬間からすべてが始まる 日本人として51年ぶりのショパン国際ピアノコンクール2位の快挙、自身のレーベル設立、日本初“株式会社”オーケストラの結成、クラシック界のDX化 脚光を浴びる若き天才は次代の革命家でもあったー いま世界が注目する音楽家の軌跡と未来 幻冬舎 HP より

○大坂 環／著 トンネルの向こうへ

大坂なおみの母が明かす、自由を求めて故郷を飛び出してから、なおみがチャンピオンになるまで。喜び、その後の苦悩、そして今ふみだそうとする、新たなスタート。 集英社 HP より

○高瀬 隼子／著 おいしいごはんが食べられますように 第167回芥川賞受賞！

「二谷さん、わたしと一緒に、芦川さんにいじわるしませんか」心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができががんばり屋の押尾。ままならない微妙な人間関係を「食べること」を通して描く傑作。 講談社 HP より

著 者	書 名
ダンシングスネイル	怠けてるのではなく、充電中です。昨日も今日も無気力なあなたのための心の充電法
キム・スヒョン	私は私のままで生きることにした
反田 恭平	終止符のない人生
大坂 環	トンネルの向こうへ 「あと一日だけがんばる」無謀な夢を追いつづけた日々
ブレイディみかこ	両手にトカレフ
高瀬 隼子	おいしいごはんが食べられますように
窪美澄	夜に星を放つ
ペクセヒ	死にたいけどトッポッキは食べたい
朝井リョウ	星やどりの声
湯本 香樹実	夏の庭
宇山/佳佑	桜のような僕の恋人
いぬじゅん	この冬、いなくなる君へ
今村夏子	あひる
櫻井千姫	天国までの49日間～ラストサマー～

